

## 25 金属パネル目地の補修（ブリッジ工法）

### 笠木、金属パネル目地のシーリング打増し補修

#### 施工手順

#### 施工方法

補修範囲の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>目視により劣化範囲を確認し、補修範囲を確定する。</li> <li>シール材の選定は、使用場所及び目地の材質に適合した材料を選定する。</li> </ul>
目地周辺の清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケレン後、ダスター刷毛で粉塵を除去後、溶剤拭きにより油分を除去する。</li> <li>目地底が湿潤状態の場合は、十分に乾燥してから施工する。</li> <li>既存目地表面と新設シールの間に空隙が生じる場合、シール充填等の必要な処置を行う。（別途打ち合わせ）</li> </ul>
ボンドブレイカー・マスキングの貼付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存シール材と新設シーリング材と接着しない幅のボンドブレイカーを貼り付け、既存シーリング材との間を絶縁する。</li> <li>テープ貼り位置は、シール材の被着面へ食込まない様に貼る。</li> </ul>
目地枠貼付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>バックアップ材で新設シール材の打設幅及び厚さを確保する目地枠をバックアップ材を貼付け作成する。 ※（目地の接着幅及び厚さは9mm以上とする。）</li> </ul>
プライマー塗布	<ul style="list-style-type: none"> <li>プライマーは、刷毛で均一に塗布し、塗り残しが無い様にする。</li> <li>プライマー塗布後、当日施工出来ない場合や、雨濡れした場合は、再塗布する。</li> <li>シール材：ボンドシールプライマー#9</li> </ul>
シーリング材の混合	<ul style="list-style-type: none"> <li>専用混合機により、基材・硬化剤・カラーマスターが均一になるまで15分以上混合する。</li> <li>混合不良を防止する為、容器の壁、底部の材料をヘラで掻き落とした後に再度、混練する。</li> <li>使用材料：ボンドMSシール</li> </ul>
シーリング材の充填	<ul style="list-style-type: none"> <li>混合したシーリング材をコーキングガンに詰めた後、目地底から気泡が入らない様に充填する。</li> <li>混合したシーリング材は、可使用時間内に使用する。</li> </ul>
ヘラ仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>シーリング材表面が指触乾燥前に、目地幅に合ったヘラで表面を平滑に仕上げる。</li> </ul>
養生	
マスキングテープの除去	<ul style="list-style-type: none"> <li>シール材の硬化後、型枠材及びマスキングテープを除去する。</li> </ul>
コーナー部シーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じコーナー部分のシーリング処理を行う。</li> <li>後打ち部分は、プライマーを塗布し施工する。（コーナー部分のシーリング施工は別途協議による）</li> </ul>
目地廻りの清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>マスキングテープよりはみ出した箇所は、周囲を汚染しない様に除去する。</li> </ul>

完了

